

第78回明石市環境審議会 議事概要

令和5年6月7日（水曜日）14時～16時

明石市民会館 第1・第2会議室

出席委員：14名

◇諮問

明石市一般廃棄物処理基本計画の変更について

審議会の開催に先立ち、横田副市長から環境審議会小幡会長へ諮問を行った。

【議事1】明石市一般廃棄物処理基本計画の変更について

○事務局より説明（資料1）

新ごみ処理施設では、地球温暖化対策への貢献、安心、安全、安定的な処理、経済性等を考慮した結果、可能な限りコンパクトな規模で、プラスチック資源の分別に対応した施設とすることから、2022年4月に作成した「一般廃棄物処理基本計画」において、プラスチック資源の分別を推進するための計画の変更について環境審議会に諮問し資源循環推進部会の設置を行う。

質疑：特になし

【議事2】明石市地球温暖化対策実行計画案(区域施策編)について

○事務局より説明（資料2-1・2-2）

（2-1）計画素案に対する意見募集結果

2023年3月15日から1ヶ月間の募集し、3名の方から計画書素案全体に対する意見が2件、施策に関する意見が3件、新庁舎に関する意見、情報発信に関する意見、推進体制に関する意見がそれぞれ1件ずつ、計8件。

●計画書素案全体に対する意見：わかりやすくまとめられている。

●分野別に何を重点施策して実行するかなどのご意見

☞脱炭素化を進めるにあたっては、計画書の36ページに記載の通り、まずはエネ

ルギーの効率的な利用などによってエネルギーの使用量を減らすこと、次に再生可能エネルギーの導入によって、エネルギーの脱炭素化を図ることが重要で、特に太陽光発電設備については重要な施策としている。

各ご家庭についても同様に、戦略 1、エネルギーの効率的な利用の促進および戦略に、再生可能エネルギーの最大限導入において、家庭での取り組みを定めている。

●新庁舎をゼロエネルギー庁舎にするべきとの意見

☞費用面と設置スペースの関係で、現段階ではZEB Ready を目指している（本市の企画調整室）。

●情報発信に関する意見

☞本計画の内容をわかりやすくまとめたリーフレットを活用して周知していく。

●推進体制に関する意見：推進の主体エンジンが見えない。地域のステークホルダー専門家、一般市民が議論してできた計画であれば、推進主体が見えてくるのではないか。

☞計画書内の図を修正

（2-2）意見募集結果を踏まえた対応

計画書案の 70 ページ目の推進主体を示す図 7-1 について、推進主体は、明石市と地域のステークホルダーなどということを知りやすくするために、この二つを枠で囲み、明石市と地域のステークホルダーとの間の矢印に記載していた文言を推進と連携に修正。

<主な質疑>

（委員）意見を伝えている人が、少ない。多分、受付期間が年度末の忙しい時期で少なかったと思う。市民にこの資料を見せて意見をもらう機会（フィードバックする機会）の予定はあるのか。

（事務局）計画のフィードバックについて、具体的な予定はないが、引き続き計画をこの計画を周知していくことは重要と認識している。今後、啓発リーフレットなどをイベント等で配布することは考えている。

(委員) 若い世代とか、今環境審議会の中にいないような世代の人たちには特に知ってほしい部分だと思うので、説明するような機会を設けたり、もうちょっと積極的な配るだけじゃない機会を設けてほしい。

(事務局) ご意見を踏まえ検討していく。

(委員) 新庁舎に関し、イニシャルコスト 42 億円の根拠がわからない。もっと広いパネル面積が取れると思う。国も県も推進している PPA で作れば初期費用はかからない。将来的に市役所で使う電力の電気代が外へ出ていかないというメリットも考えられる。一概にイニシャルコストが高いからやめるのはもったいない気がする。

(事務局) 企画調整室の回答のため、42 億円の根拠は説明できないが、イニシャルだけじゃではなくてスペースの問題もあって、全てのエネルギーを賄えない(ゼロエネルギーとならない)。PPA については、紹介させていただきたい。

(委員) 空調設備の上にもパネルを置けば、熱が直接当たらない。屋上は使えないとか固定観念じゃなくて、壁面とか、最近ですと、ガラスの透明の発電パネルもありますから、そういう新技術、新制度 PPA など、やったら嬉しい。

(会長) 新技術はコストがどれぐらいかもある。企画調整と協議が必要。

(委員) 資料 2-2 の推進体制図のエネルギー事業者と専門家でもとめて記載されてるが、それぞれに情報提供等と助言支援っていう矢印をまとめて書いてるのが、一方通行にも見える。地域ステークホルダー関係組織の方から専門家にだけ情報提供を行って、エネルギー事業者から助言と見えるので、市民の方に誤解のないようにまとめる等の修正が必要。

○事務局より説明(資料 2-4)

(2-4) 啓発用リーフレット

パブリックコメントで市民への啓発が必要とのご意見があったことを受け、市民の皆様ができる取り組みについてまとめたもの。

【主な記載内容】

・地球温暖化について温室効果ガスをこのまま排出することで 2100 年までに気温が最大 5.7 度上昇してしまうこと

・海面上昇や熱中症の危険が増加しているなど、地球温暖化による様々な影響について

・地球温暖化の問題を解決するために、世界にはパリ協定を締結し、地球全体の気温上昇を 1.5 度に抑える目標を立てている

・日本でも 2050 年までに大気中に定住温室効果ガスの量をゼロにするカーボンニュートラルを目指すこと

・明石市でも温室効果ガスを 2013 年から 48%減らす計画を立てていることや、そのために必要な取り組みについて

・ひとりひとりにできることとして、市民の皆様が日常生活の中でできる脱炭素化への取り組みについて

・太陽光パネルを設置することや、省エネ性能がついた脱炭素型の製品を選んで購入すること、エコバックやマイボトルを使うこと、公共交通機関などの CO₂ の少ない交通手段を利用することなどの紹介

・最後のページで、計画書の脱炭素に繋がる新しい豊かな暮らしに向けてについて、各ご家庭で取り組める内容

・パブリックコメントでも意見のあった、補助金の情報

<主な質疑>

(委員) ・読みがなが振られて広い属性で言えば読みやすい、よくまとめられている。
・最後のページの CO₂ の削減効果の小文字で※印 2 台交換の注釈の意味がすぐにピンとこない。

・表紙イラストのタコの上の二つの直方体がわかりにくい。活字をいれるか。

(事務局) ・最後の LED 灯高効率機器を 2 台交換の件は、計画書の 31 ページに記載の表をもとに作成。LED の 2 台は、おそらく、蛍光灯から LED へ 二つ変えることと思うが確認する。

・表紙イラストのタコの絵の上が何かというと、ゴミ箱をデフォルメした絵。

(委員) ・表紙の絵の子供たちに、例えば水筒を持たせては。

・ゴミ箱投入口の形で、丸は缶と瓶を入れ、細長は紙を入れるデザインでおのずと分別が進むようなナッジ効果がある。色が違うだけで、丸が二つはわかりにくい。

・最後のページの CO₂ 削減効果の意味が、年間の単位がなくわかりにくい。

・「住宅を購入するときはZEH」にすると削減交換が 2551 kgの根拠と削減効果が何と比較したのかわかりにくい。

・「引っ越しのときは省エネ性能の高い住宅へ」購入と引っ越して購入したら引っ越しするだろうと思うが、わかりづらい。

- ・省エネ性能だから普通の住宅に比べて省エネ性能の高い住宅はこれだけ削減するのであれば、住宅を購入するときは別というのもわかりづらい。LED 以外のところも、少し確認していただいた方がいい。
- ・計画書にあったように、リーフレットにも、出典を明らかに。
- ・1人1人にできることの「エコバック・マイボトルを使おう！」マイボトルは買い物するときにばかりじゃない。
- ・「ゴミを減らすためにも繰り返し使える製品を使いましょう。」はその通りだが、ゴミを減らす、そのプラスチックをなるべく使わないというのが、ポイントではないか。マイボトルの場合はペットボトルを減らしましょうと、それからエコバックの場合は、レジ袋を減らしましょうというとするとうわかりやすい。
- ・「繰り返し使える製品を使いましょう。」は広い話になってしまう。
- ・「買い物をするとき」に「容器包装はなるべく少ないものを使い選びましょう」は、わかる。「エコバッグ」もわかる。「マイボトルを使おう」がここにあるのはわかりにくい。
- ・逆に言うとうわかりやすいのは地産地消を心掛ける。これはものすごくわかりやすいので、「買い物をするとき」の内容をもう1回考えていただきたい。

(会長) ・「買い物をするとき」は、少し問題がある。

- ・最後のページに数字がでてきて子供向けとしてどうか。葉っぱ等で CO2 を表すような、子供たち向けに表現自体を考えてはどうか。

(事務局) 表は環境省の資料のため、根拠を再確認します。

イラストも含め、業者に作成を依頼し契約期間は終了している。大きな修正が自前で可能か、予算化して修正かを含め検討。

(委員) 削減効果の節約額も年間でいくらの削減か丁寧な書き方をしないとぱっと見て何のことかわからない。「1年間で照明を LED に変えたら年間で3000円節約できますよ」とすれば理解しやすい。時間の単位が必要。計画書の31ページも同じ。

(委員) 最後のページ以外はこども向け、最後は保護者向けパンフレット。どの対象にどう活用するか決めるべき。小学校ではこういう勉強をしているので、各学校に配ってその授業にあう形ができれば一番望ましい。

(委員) 子供向けなのか、誰を対象に作られたのかはつきりしない。

まちづくり協議会で2ヶ月に1回 浜の清掃活動している。浜を綺麗にするとき、行き着くところは環境問題。清掃活動のときに、資料を皆さんに配って、紐付けていくのが大事。意識を高めるために、わかりやすく、子供向けだけでなく、それぞれ対象に

あったものを発信していただきたい。

・今、防災にも力を入れている。環境改善しなかったら、防災に影響がある。市もそれに合った資料を作っていただければ非常にありがたい。

(委員) 対象ともう一つ目的が大事。温暖化対策実行計画を導入してもらえるよう、最後のページの「お役立ち情報」に明石市の取組や計画の検索情報があればよい。

(事務局) 最後のページをもう少し子供向けの、優しいものに差し替える方向で修正であれば、ちょっとお時間をいただきたい。

(委員) ・表紙に、明石市らしさがない。明石のキャラクターをここに入れていただきたい。

・先ほどお話のあった浜の掃除は環境にとって本当に最適なきっかけで、浜は、陸の生活から川を使って、世界から繋がってるとか、もうこれほど格好の機会はない。温暖化で災害が頻発し、毎年、日本も洪水がニュースになる状況。災害廃棄物をどうするかも、各自治体みんな計画作っているところ。

(会長) 資料づくりは可能な限りやっていたとということで、これだけ意見があるので、良い方向に動いていければ。学校、市民団体、地域などで勉強会等やっていたけるかと。ぜひお願いしたい。

(委員) 県では本編と概要版があり、概要版は行政で作し、事業者・大人向けに使っている。防災の緩和策だけでなく適応策も盛り込める。子供向けのパンフレットについては、高校生の環境学習の一環で、高校生に計画を読んでもらい、パンフレットを作ってもらったこともある。2パターン作れば、非常に使いやすい。

(委員) 市民の方に配布する一つの方法で、今年、県の事業の一環で、LINE 回覧の導入し、まず、ゴミカレンダーを入れるなどしている。

(委員) 表紙のタイトルのサブタイトル「学ぼう！地球温暖化と私達にできること」で地球温暖化が良くないことは大前提かもしれないが、何か地球温暖化を促進するためと捉えられないか。

(委員) 1 ページ目「地球温暖化ってなに」が重なっているので省いてもいい。

(委員) 大人向けでは環境破壊は考えて環境配慮しながら CO₂ 削減する観点が

欲しい。

太陽光パネルも、1人1人にできることの中で、個人住宅につけてもらいたい。新築だけでなく既存の家にもつけて欲しい。共同購入なども紹介しては。地球温暖化を解決するための太陽光パネルのイラストも個人住宅用がよい。

(委員)・計画書の図も全体的に文字が読める方が分かりやすい。

・今の自然を守る視点も大事。明石は豊かな海と触れられるが、海と森が繋がっていて、森を守ることが大事で、明石市、森は少ないけど、大久保北部の方に里山があり、明石公園もちょっとした森で、そこのおかげで海も関連して綺麗になっていくので、「里山の保全」とか「森の保全」とか、そういう言葉を、計画書20ページ図の左上(山の辺り)に入れると、全体で自然を守っていくことになる。

(事務局)ご意見をもとに最大限、見直しを行っていく。

【その他】

次回、10月頃開催予定